

くらしの中の人権

バイアスと人権



私たちは、家庭、職場、地域、あるいはネット空間で、多くの人と関わり合いながら生活しています。その中で、「あの人はこんな人に違いない」「普段はこうすべきだ」など、合理的な理由もなく、人や物事に対して思い込み、決め付けることがあります。

いい情報ばかりに目が行き、そうでない情報は軽視する。(例)「高齢者はパソコン操作が苦手です」

くいいのですが、自分の気持ちを優先し、自分の要望を叶えようとしたときに現れる傾向があります。そんな時は相手を受け入れることが大切です。自分の価値観から離れて、周りの価値観に歩み寄り、相手の考えを認め、受け入れる心をもちましょう。

そうした、人の思考や判断に歪みや偏り(思い込み)をもたらす心の仕組みを総称して「バイアス」と呼びます。また、本人は無意識であることから、「アンコンシヤス・バイアス(無意識の偏見・無意識の思い込み)」とも言われます。

意識だからこそ気付くことが大切です。感情的になりそうなき、呼吸置いて自分を客観的に見つめ直したり、自分に問いかけたりすることが効果的です。

多様性を認め合う社会へ 今後、私たち自身がアンコンシヤス・バイアスをもっているかも知れないという認識のもと、周りの意見に耳を傾け、物事を多方向から見る習慣を身に付けることが大切です。

アンコンシヤス・バイアスには様々なものがあることを知識として知ることが大切です。無意識に対して意識することで、偏見に対しての適切な対応につなげることが出来ます。

一 対処法Ⅰ「知る」

アンコンシヤス・バイアスには様々なものがあることを知識として知ることが大切です。

アンコンシヤス・バイアスは、無意識だからこそ気付くことが大切です。感情的になりそうなき、呼吸置いて自分を客観的に見つめ直したり、自分に問いかけたりすることが効果的です。

一人一人が異なる存在を受け入れられ、大切な二人として認められるような社会の実現をめざしていきましょう。

二 対処法Ⅱ「気付く」

アンコンシヤス・バイアスには、無意識だからこそ気付くことが大切です。

アンコンシヤス・バイアスは「無意識」なので、自分では気付き

アンコンシヤス・バイアスには「無意識」なので、自分では気付き

三 対処法Ⅲ「受け入れる」

アンコンシヤス・バイアスには「無意識」なので、自分では気付き

アンコンシヤス・バイアスには「無意識」なので、自分では気付き

アンコンシヤス・バイアスには「無意識」なので、自分では気付き

市民文芸

花みずき歌壇

(418)

山崎泰子・選

バウンサー爺が揺らしておくからね たんとお食べよ娘よ婿よ

横須町 天王谷 一

海の無き大和に生れて海恋の果てに阿波女となりて半生

中田町 湯浅 百世

あっぱれの青天ひと日ゆかして暮くごとき落日にあう

小松島町 萬宮千鶴子

ジヤガイモを雨降る前に掘りあげる足腰摩り急げや急げ

前原町 福元 英夫

入道雲がぐんぐん頭上に迫りくる呼び戻される五歳の夏に

立江町 湯浅かや子

庭井戸の蓋の上には木漏れ日乳が乳を与える猫をも照らす

松島町 萬野 行子

いつ見ても楽しそうだといわれて愚痴のひとつをそつと呑みこむ

松島町 六田 靖子

デジタルの時代と言われ久しいがZoomも知らずパソコン操作

小松島町 綴木 茂治

「ドーナツのあなた たべたんよあまかった」園児がそつと教えてくれる

日開野町 森 理子

身を捨てて何も譲らんと、うべきや盛りの薔薇に鉄を入れる

中田町 松並 敦子